

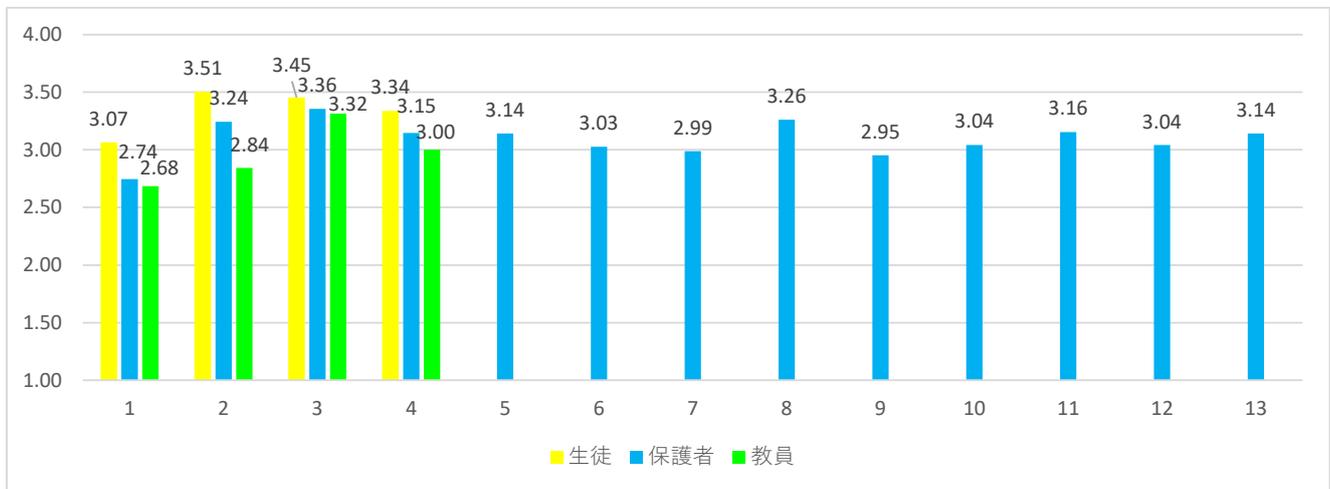
保護者の皆様へ

稲沢市立大里東中学校長
加納 有希

令和7年度 学校生活や学習に関するアンケート結果について（報告）

残寒の候、保護者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2学期末にご協力いただきました、令和7年度学校生活や学習に関するアンケートにつきまして、集計結果を下記の通り報告させていただきます。



問①	生徒は、夢やなりたい自分に向けて主体的に行動をしている。
問②	生徒は、自他のよさを大切にし、思いやりをもって人と接している。
問③	生徒は、学校や学年の行事に積極的に取り組んでいる。
問④	生徒は、自分の心と体の健康を大切にしている。
問⑤	学校は、自己肯定感の向上と一人一人の居場所づくりのため、当番、委員会など、生徒の協働的な活動を充実させている。
問⑥	学校は、学級活動や行事において、一人一人が自分のよさを発揮し、互いを認め合えるような場を工夫している。
問⑦	学校は、ふれあいタイム等を通して生徒理解に努め、共感的な温かい人間関係の育成に努めている。
問⑧	学校は、生徒の頑張りを認めたり、失敗を温かく受け止めて支援し、居心地のよい学級づくりに努めている。
問⑨	学校は、生徒の話や悩みを聞くなど、いじめの早期発見・対応に努めている。
問⑩	学校は、保護者や地域からの意見や問い合わせに誠実に対応している。
問⑪	学校は、毎日の健康観察や登下校時の交通安全、災害時の安全確保、校内の事故やけがについてしっかり指導している。
問⑫	学校は、保護者や地域の方と協力して、地域とともに子どもたちを育てていこうと努めている。
問⑬	学校はお便り（tetoru）やホームページ等で学校の様子を積極的に発信している。

【集計結果から】

問②や問③、問⑧について、高い評価をいただきました。問②、問③は生徒の評価も高くなっています。問②は、コミュニケーション活動により自己存在感を高め、他者理解を深める「ふれあい活動」の充実や、授業や学級活動、委員会活動における話し合い活動の充実や、道徳科の授業を中心に教育活動全体を通して、道徳教育の充実に向けたことの効果が得られたと考えます。一方、教員の評価は高くなく、期待値が高いことが分かります。今後はさらなる充実に向けて努めていきます。問③は、生徒会や学年リーダーを中心に学校行事や各種活動において一人一役の活動を行うことで、生徒の主体的に取り組む姿が多く見られました。特に学校祭では、生徒が主体となって計画・実行したことで、これまでとは違った盛り上がりを見ることができました。問⑧は生徒理解に努め、信頼関係のある温かい共感的な人間関係の構築に尽力してきたことを高く評価していただき、感謝いたします。一方、問⑨は評価が低くなっていますので、今後も誰もが安心して自分らしく生活できる環境づくり、居場所づくりにより一層努めていきます。

問①については、生徒の評価は高いですが、保護者、教員の評価が低く、さらなる改善が必要な結果でした。「夢をいただき、なりたい自分に向けて主体的に行動する生徒」は本年度よりめざす生徒像としてかかげております。本年度は授業において、学びと将来の自分とのつながりを意識して主体的に学び続けられるよう、好奇心を高める単元構想や振り返り活動の工夫に努めました。今後は、キャリア教育をはじめ、教育活動全般において、意識が高められるような工夫を取り入れ、保護者の皆様にもその様子が伝わるよう改善を図っていきます。

これからも生徒や保護者の皆様の信頼を深めることができるよう、努力してまいります。皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。